

1 実践の目標

消費者教育を「自立した消費者の育成」・「多様な学習機会の確保」・「持続可能な社会を実現させる児童の育成」をキーワードに、必要な知識やスキルを身に付けた上で、行動に結び付けられる教育ととらえ、将来、健全な社会の一員となるための基本的な能力を育成する。

2 実践の概要

(1) インターネット利用教室

e-とくしま（財）の方から、インターネットの安全な使い方についてのお話を伺った。子供たちにとって身近な存在であるパソコンやスマートフォンを、消費者として安全に有効利用するための基本的な方法を学んだ。

(2) 「徳島ビジネスチャレンジメッセ」への参加

企業ブースを見学し、「徳島ならではの」の安全安心な食品等について理解した。また、各企業の方から、商品に関する様々な情報について説明を伺う中で職業に対する興味や関心を持った。

(3) 食育への取組

○栄養士による栄養に関する授業

栄養士の方と家庭科担当教諭によるチームティーチングで、「食品の選び方」に関する授業を行った。食品の選び方や体への影響等について、模型や紙芝居を使って具体的に学習した。

○給食委員会での取組

給食時のマナーや給食の意義についての情報を、各教室に準備して黒板に掲示した。また、食に関するクイズやお知らせ（例；おせち料理について）を、階段の踊り場や給食室前に掲示した。

(4) 食のマイスターから学ぶ

地元の和菓子店の職人の方から、和菓子の歴史や和菓子の作り方について学ぶことにより、作り手の思いや、和菓子が季節を取り入れた日本文化であることを知り、伝統の素晴らしさを理解することにつながった。



【企業見学】



【食に関する授業】



【和菓子作り】

3 実践の成果

本校では、消費者教育に関しては、家庭科における学習を中心として取り組んでいたが、本年度は様々な領域においても取り組むことができ、子供たちの学びが深まるきっかけとなった。また、教師だけでなく、専門家の話を聞くことで、自身の消費生活に対する興味・関心が高まったことも成果の一つとしてあげられる。今後はより体験的な学習活動を取り入れて、子供たちの学びを広げていきたい。